



国民の暮らし・人権を脅かす安倍政権の暴走政治に STOP を！

TPP 交渉からの即時撤退を求める県民集会



年内の交渉妥結に向けた動きが強まる状況の下で、11/24（日）に JA 高松中央地区営農センターにて、香川民医連も参加する香川革新懇主催の「TPP 交渉からの即時撤退を求める県民集会」が開催され、香川民医連のからの参加者 16 名を含む約 270 名が参加しました。

集会では、香川県農協中央会・宮武会長の来賓挨拶の後、日本共産党の紙参院議員から基調報告として、TPP 交渉の秘密主義と日本の農業や医療など国民生活に及ぼす影響などについて報告がされました。また、TPP の危険性等について、農業、医療、教育等の各分野から発言があり、医療分野からは藤井県連副会長が発言をしました。

自民・公明・みんなの 3 党の賛成で民主主義の土台を破壊する特定秘密保護法案の衆議院での採決が強行された 26 日、全国各地で法案反対の取り組みが行われる中、香川でも香川革新懇の呼びかけで「秘密保護法案の廃案を求める緊急昼休みデモ」が行われ、香川民医連から参加した 12 名を始め、飛び入りの参加者を含めて約 80 名が参加しました。

参加者は、手づくりのプラカードを手に、「秘密保護法案廃案」のシュプレヒコールを上げながら、三越前から田町交番前まで商店街をデモ行進しました。

デモの様子は、当日夜のテレビのローカルニュースの他、27 日の朝日新聞の全国面でも、民医連からの参加者が写った写真付で報道されました。



秘密保護法案の廃案を求める緊急デモ



第2回県連介護事業所学習交流会を開催しました！

11月16日（土）午前中今年度2回目となる介護事業所学習交流会（香川民医連介護福祉委員会主催）を開催、法人内各介護事業所より23人の参加がありました。

山本副部長（介護福祉部）による「民医連の介護福祉の理念」「介護保険改定 2015 年」の講演で熱い想いを抱き、田町商店街へ「介護保険制度の改悪中止を求める」街頭署名活動に出かけました。

出発時のオノマトペ（擬音ではなかったけれど）による団結心が功を奏したのかおよそ 30 分の短い



時間に 120 筆集めることができました。若い世代も含め多くの方が「介護問題は人事ではない」と急ぐ足を止め話を聞いて下さったことに感謝しながら、もっと私達自身が介護の現場からの声を今日のリレートークに終わらず国へ届けていかなければならないと感じました。

これからも「この国に生まれて本当に良かった！」（辛坊治郎さんがヨット遭難事故から救出された時の言葉）と誰もが思えるようにこの日の熱い想いを介護ウェブで引き継いでいきましょう。

（老健虹の里 綾田典子）

